

I. 活動時間

- 7:10 ロビー集合
- 7:45 チョーキット駅にて現地学生と合流
- 8:00 現地学生たちと共にバスに乗り老健施設へ向かう
- 9:00 老健施設内見学及び交流
- 12:00 バスで UKM へと向かう
- 13:00 UKM 内で昼食
- 14:00 UKM にてプレゼンテーション及び各国の発表
- 16:00 終了
- 17:00 ブキビンタンにて夕食
- 23:00 ホテルに戻る

II. 活動内容



今日は、海外短期フィールドワークの最終日であった。午前中は、7:45 から現地学生と合流したあと、バスに乗り込みクアラルンプール市内の老健施設へと向かった。この老健施設は、認知症と嚥下障害の方が多く暮らしている施設であり、とても広大な敷地内で開放感のある場所である。ここでは、それぞれ症状の重さや種類によって区画が分けられており、グループホームの方に ADL が自立している人から、閉鎖病棟のような施設を行う部屋まである。自然が多く、猫やトカゲなど野生の動物も見られる。この老健施設では、施設内の見学の他にも UKM の学生がオリジナルの体操や、ゲームなどを考え

実施しそのプログラムに参加する事となった。お年寄り一人に対し二人学生が付く形で交流をする。大きめのホールでのキャッチボールなども行った。

午後は、UKM に戻ったあと、マレーシア、インドネシア、スウェーデン、日本の 4 か国による交流会が開かれた。マレーシアの国歌や UKM の校歌から始まる正式な式典である。この交流会では、各国のスピーチや、パフォーマンスを行い、各国の交流と理解を図る。UKM は、中国系マレーシア人が多い為に、発表は中国の伝統的な楽器の演奏と舞踊。インドネシアは、インドネシアの伝統的なダンスの発表を行っていた。スウェーデンは、スピーチと共に伝統的なダンスを参加国を交えて踊った。日本は、日本の紹介のプレゼンテーションに加えて、折り紙教室（ぱっくん作り）を行った。マレーシアに行く前から、念入りに準備をして



いたプレゼンテーションは想像以上に盛り上がり、日本から買ってきた寿司の餡も大変気に入られた様子であった。それぞれ言語が異なる中での交流はどうしても意思疎通が難しい所があるが、ダンスや演奏は言葉を使わずとも参加者全員が同じ気持ちになり楽しさを共有できる事が分かった。拙い英語でも、気さくに接して下さる各国の学生の優しさを感じる事が出来る、素晴らしい交流会であった。